

秋の特別企画展

万葉のふるさと 憧れの万葉故地へ

会期 令和3年 8月25日(水)
～12月20日(月)

全国の万葉にゆかりのある自治体は、万葉故地としての歴史文化遺産を末永く後世へ継承するために、万葉をテーマとした広域での魅力発信、歴史・文化を通じた相互交流を目的とし、これまで2年に1度各地に集り「全国万葉故地サミット」を開催してきました。

第1回は、平成28年に大伴家持生誕1300年記念イベントとして高岡市で開催され、全国から10の自治体に参加しました。第2回は平成30年に宮城県多賀城市で開催、第3回は令和2年に奈良市での開催を予定していましたが、コロナ禍のため残念ながら中止を余儀なくされています。

万葉集を典拠とする元号「令和」の時代となり、今年で3年目を迎えます。当館では、新型コロナ以後の世界を見据え、より多くの方に万葉集を体感し、その素晴らしさを知っていただくため、この春プロジェクションマッピングによる迫力ある映像で万葉の世界を感じられる「万葉体感エリア」を開館しました。さらにこの秋には、楽しみながら万葉集を学べる「万葉学習エリア」もオープンします。

この特別企画展はそれにあわせて、全国万葉故地サミット参加自治体を中心に、それぞれの万葉故地やそれにかかわる施設等を紹介するものです。日本各地に広がる万葉故地の多彩な魅力の一端にふれていただければと願っています。

—記念シンポジウム—

「令和時代の万葉のふるさとを語る」

日時 10月3日(日) 午前10時～12時30分

当館講義室 定員50名(事前申し込み制) 観覧料のみ要

※「高岡万葉まつり」最終日に開催

※お問い合わせ・申し込みは当館へ

パネリスト

松尾セイ子氏 (大宰府万葉会会長)

川島美美子氏 (山陰万葉を歩く会会長)

馬場 吉久氏 (紀伊万葉ネットワーク副会長)

コーディネーター 坂本 信幸 (当館館長)

【期間限定】万葉集断簡の特別公開

9月26日(日)～10月11日(月)

特別展示室にて、尼崎本・春日本・金沢文庫本・梅尾類切などの当館が所蔵する万葉集の断簡のコレクションを期間限定で公開します。

2021高岡万葉セミナー「万葉の受容」

万葉集が様々な時代や人々に、どのように受け止められたか語って頂きます。菊川恵三氏(和歌山大学教授)・吉井健氏(武庫川女子大学非常勤講師)・田中教子氏(歌人)

8月28日(土)10:20～16:15 受講料 3,000円(学生1,000円)

会場と動画でつなぐ!4516首

高岡万葉まつり 万葉集全20巻朗唱の会

10月1日(金)・2日(土)・3日(日)

※お問い合わせ 高岡万葉まつり実行委員会事務局(高岡市観光交流課内)
TEL:0766-20-1301 FAX:0766-20-1496



令和×万葉
TAKAOKA



高岡市観光
ポータルサイト

—交通のご案内—

◆最寄り駅JR氷見線 伏木駅から

【当館までの距離 約1.5km】 タクシーで約5分、徒歩約25分

◆JR・あいの風とやま鉄道 高岡駅から

【バス】 高岡駅前(北口)4番のりば

加越能バス伏木方面(西回り)・伏木方面(東回り)のいずれかに乗車(約30分)し「伏木の宮バス停」で下車、徒歩約7分

【タクシー】 約20分

※「北陸新幹線 新高岡駅」と「JR・あいの風とやま鉄道 高岡駅」の間は、10分間隔でバス便があります。(所要時間約10分)

◆お車で

【能越自動車道】 高岡北インターから約20分

高岡インターから約25分

【北陸自動車道】 小杉インターから約35分

高岡砺波スマートインターから約35分

万葉体感エリア (プロジェクションマッピング「大伴家持と越中万葉の世界」)



高岡市万葉歴史館

〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮 1-11-11 電話 0766-44-5511 FAX 0766-44-7335

E-Mail:manreki@takaoka-bunka.com https://www.manreki.com

歴史館の最新情報、日々の出来事はツイッターで 家持くん @manreki いけぬし君 @kenushi おおいらつめちゃん @oiratsume 万葉人・高岡市万葉歴史館館長 @akahitomusimaro